

橋下維新の会共同代表の「従軍慰安婦」発言

橋下大阪市長、「地獄を見た」元慰安婦をさらに苦しめないで

橋下大阪市長（日本維新の会共同代表）の従軍慰安婦の発言に、国内外から多くの批判があがっている。自信を持って持論を展開した橋下大阪市長であったが、批判は思った以上に大きく、発言の弁明に追われている。

軍隊の暴力性の正当化は許せない！

橋下氏は、慰安婦は軍隊の規律を維持するため必要と主張している。軍隊の暴走を止める道具として女性が利用されたのでは、たまったものではない。

辞書によると慰安とは、「慰め、労をねぎらう」とある。兵士の労をねぎらうために女性をあてがったのだ。そこには人権や人間性の欠けらもない。それが戦争なのだ。橋下氏の発言は、軍隊の暴力性を認めた上でのものなのだ。

ウケを狙っての発言はテレビ的

テレビのバラエティ番組で巧妙なコメントで人気を得ていた橋下氏だが、今回の発言は公的な政党の代表としてあまりにも非常識だ。

海外に広がる橋下批判

発言は瞬く間に全世界に発信された。「橋下市長は戦時の性奴隷は必要」慰安婦でなく性奴隷と英訳されている（米ニュースサイト）ドイツの大衆紙では「市長が強制売春弁護」などと紹介されている。表現の仕方は賛否があるが、発言の本質をとらえている。また弁明機会を海外記者に求め開いた会見も人権、歴史、いずれもかみ合わず不発に終わったのであった。

低迷する最近の維新の会の人気に焦る超保守的な発言は選挙目当てとしても情けない。

	主な問題点	会見での説明
歴史問題	従軍慰安婦問題を謝罪した1993年の河野洋平官房長官談話の内容を疑問視	「河野談話を否定するつもりはないが、慰安婦を国家の意思で拉致したのかしないのか、はっきり書かれていない。事実を検証して「明確化」すべきだ」 「国を代表する政治家は（太平洋戦争が）侵略だったことを認めないといけない。周辺諸国に多大な損害と苦痛を与えたことはおわびしないといけない」
外交問題	歴史認識問題で韓国、中国との対立関係がさらに悪化。米国にも懸念の声	「河野談話のあいまいさが日韓関係が改善しない原因。日韓の歴史学者が共同で事実を明確にすべきだ」 「日本の信頼関係が崩れないよう、在日米軍の綱紀粛正を徹底してほしい」
人権問題	旧日本軍から性的被害を受けた元従軍慰安婦の女性を侮辱	「私自身が慰安婦を正当化したことはない。「戦時中は、世界各国の軍が女性（慰安婦）を必要としていたのではないか」という発言の趣旨が誤って報道された」 「女性の人権を大切にするのは人類の到達点。女性の尊厳と人権は普遍的価値として重視している」
沖縄問題	米兵による暴行事件の被害などに苦しむ沖縄県民を傷つける	「沖縄での米兵による性犯罪の問題は改善してほしいと思っている。解決しようとの強い思いから風俗業活用を建言したが、不適切な表現なので撤回しておわびする」